

## 報告文献別一覧表

番号	感染症	出典	概要
1	A型肝炎	ABC Newsletter 2003. 11. 14	米国ペンシルバニア州で、A型肝炎による400人以上の集団感染が発生した。輸血による感染はまれであるが、北オハイオ赤十字血液センターは、発生源となったレストランで食事をしたヒトからの供血を12ヶ月間延期する感染防止措置を取った。
2	A型肝炎	Journal of Medical Virology 2004; 72: 10- 16	A型肝炎ウイルスに感染すると、黄疸出現後490日までウイルスが検出可能であり、ウイルス量のピークはALT値に相関していた。
3	A型肝炎	日本ウイルス学会第51回 学術集会・総会 293	仙台市内で1ヶ月間にA型肝炎の症例が11例、集中して発生した例。
4	B型肝炎	第35回日本小児感染症 学会 2003/11/7-8 演題 86	従来知られていない、特異な経路によるB型肝炎の集団感染。アトピー性皮膚炎を掻破し出血したことによって保育施設内で感染が拡大した可能性が示唆された。
5	B型肝炎	医薬品情報提供ホーム ページ（医薬品等の回収 に関する情報） 2003/9/16, 2003/9/25	日本赤十字社と日本製薬株式会社は、個別NAT検査でHBV DNA陽性であることが判明した献血者血漿より製造された血液製剤並びに血漿分画製剤を自主回収した。
6	C型肝炎	AABB Weekly Report, 2004: 10 (6), 1-2	オーストラリアで、1990年にHCVスクリーニング検査陽性だった数例の献血者に対し、献血停止の措置をとらなかったことについて。
7	C型肝炎	AABB Weekly Report. 2003; 9 (40): 4-5	米国Kansas City Star紙によると、米国でALT試験をもっと早期に実現していたなら、30万例にのぼる輸血によるHCV感染は予防できただろうと報じた。またHCVについての包括的なルックバックは未だ実施していないことについても報じた。
8	C型肝炎	Hepatology 2003; 38 (4 suppl 1): 156A-818A.	米国で血清中にHCV-RNAが検出されず、他に原因が特定できない長期の肝疾患患者57人の肝生検サンプルをRT-PCR法分析した結果、47人（70%）にHCV-RNAを認めた。この潜在性HCV患者の肝損傷の程度は、通常のHCV感染例より重症である。
9	C型肝炎	Transfusion 2003; 43 (10): 1433-41	米国で1970年代に行われた研究の保管検体5,387本を用いて、輸血後HCV感染が成立するために必要な献血者HCV-RNAの最小量を検討したところ、現在のHCV-RNA検査は、個別審査を実施しても感染性を有する全ての血液を排除することはできず、血清学的検査は今後も継続されるべきとの結論を得た。
10	C型肝炎	Transfusion 2003; 43 (9s): S107-040G.	チンパンジーを用いて、ウィンドウ期にある血液でHCV感染が成立するために必要なウイルス量を検討した結果、個別NATで判定のボーダーラインとなる～1copy/20mlのウイルス量が必要であることが判明した。
11	C型肝炎	日刊薬業2004年1月5日	アルブミン製剤を使用した患者がC型肝炎に感染が疑われる事例が報告された。
12	E型肝炎	Hepatology Research 2003; 27: 169-73	東京及び近郊の居住者1,033人の血清検体を用いて、HEV IgG抗体の保有率を検査したところ、肝臓病患者集団では15.4%、健常人で3.0%、幼児では0.4%で抗体が認められた。E型肝炎の汚染地域に渡航したHEV抗体陽性者はいないことから、感染ルートの解明が待たれる。
13	E型肝炎	Internal Medicine. 2003; 42 (11) 1065	ヒト由来HEV株とブタ由来HEV株が遺伝学的に近縁であり、実験的にブタ由来HEVがチンパンジーに異種間感染することが示されたため、HEVは人畜共通感染症であることが示唆されている。

番号	感染症	出典	概要
14	E型肝炎	Journal of Infectious Diseases 2003; 188 (6) : 944	日本で急性E型肝炎を発症した2名の患者はイノシシの肝臓を生で摂取していた。日本において地域的なHEV感染が潜在している一因は、こうした食習慣による可能性がある。
15	E型肝炎	Transfusion 2003; 43 Suppl: 288	2003年、日本で輸血によるHEV感染が疑われた初の症例の報告。
16	HIV感染	AABB Weekly Report. 2004; 1/2	日本で献血者のNATスクリーニングを実施してから、第一例目の輸血後HIV感染が報告された。
17	HIV感染	AABB weekly report; 10 (1) 2004. 1. 12	日赤のNAT検査導入後初めて、輸血用血液製剤によるHIV感染が確認された。
18	HIV感染	WHO Media Centre Recent press releases 11/25 2003	世界的なAIDSの流行によりHIV感染および死亡者数がこれまでの最高であるとの報告
19	HIV感染	日本感染症学会雑誌 2003; 77 (9) : 765	日本国内で初めてHIV-2感染症例が遺伝学的に確認された。本症例は韓国内で異性交渉により感染したと推定される。
20	HIV感染	平成15年度第5回薬事分科会血液事業部会資料	HIVに感染した献血者の血液が、NAT試験をすり抜けて出荷され、この血液を輸血された患者がHIVに感染した症例
21	HIV感染 C型肝炎 B型肝炎	Transfusion 2003; 43 (10) : 1596-1603	若年の血液ドナーは年齢層の高いドナーよりも、より高い感染リスクをもつ可能性が懸念される。
22	シャーガス病	AABB Weekly Report 9 (4 3), 3, 2003	ジャーガス病のスクリーニング法が開発中で、FDAで承認され次第 (2~4年内)、米国赤十字社はすべての血液についてスクリーニング検査を実施する予定である。
23	シャーガス病	ProMED 20031123-0020 (New York Times, 11/22)	米国輸血患者が不顕性感染している可能性がある、と専門家が指摘
24	シャーガス病	第73回日本寄生虫学会大会II-C-37	ラテンアメリカからの日系就労者のうち、南米の風土病であるChagas病の疑い例について最近5年間当教室において調査したところ14例中11例がTrypanosoma cruziのIgG抗体が陽性であった。PCR法にてT. cruzi-DNAを検出した例もあった。
25	シャーガス病	AABB Weekly Report. 2003; 9 (43) : 3	米国赤十字社は、FDAの認可が下り次第、すべての献血血液においてシャーガス病のスクリーニング検査を実施することを計画。
26	シャーガス病	Emerging Infectious Diseases 2003; 9 (12) : 1558-62	米国でアメリカ・トリパノソーマ症 (シャーガス病) の検査で、通常行われている血清学的検査では特異的IgG抗体陰性であった80人中、12人がPCR法で陽性になった。
27	シャーガス病	ProMED 11/23, 2003 (New York Times 11/22, 2003)	米国における輸血後のシャーガス病感染の可能性についての記事。米国ではシャーガス病は稀な疾患で、輸血または臓器移植によるシャーガス病感染者は過去に米国及びカナダで9例のみであるが、専門家は輸血患者数百名で不顕性感染している可能性があると指摘している

番号	感染症	出典	概要
28	シャーガス病	第73回日本寄生虫学会大会II-C-37	ラテンアメリカからの日系就労者のうち、南米の風土病であるChagas病の疑い例について最近5年間当教室において調査したところ14例中11例がTrypanosoma cruziのIgG抗体が陽性であった。PCR法にてT. cruzi-DNAを検出した例もあった。
29	インフルエンザ	CDC MMWR, 1/13, 2004/53 (5): 100-103	2004年アジア（ベトナム、タイ）でヒトから分離されたインフルエンザ株は抗原性も遺伝的にも香港で集団発生のもとは異なる
30	インフルエンザ	OIE Alert messages. 2004. 1. 13	日本において高病原性鳥インフルエンザの発生が確認された。
31	インフルエンザ	OIE HP 2003/12/12	韓国の養鶏場で鳥インフルエンザの流行が確認された報告
32	インフルエンザ	OIE HP 2004/2/11	米国デラウェア州の2つの養鶏場で鳥インフルエンザの発生が報告された。
33	インフルエンザ	ProMED 12/6. 2003 (Infectious and Parasitological Diseases News 12/3, 2003)	モスクワ大学の学生での原因不明の疾患流行。この流行は、高熱を伴うインフルエンザの重症型の可能性が高い
34	インフルエンザ	ProMED 20040112-0040 (Reuters news alert, 1/12)	山口県が1月12日、トリインフルエンザにより6000羽のニワトリが死亡したと発表した。
35	インフルエンザ	THE LANCET 2004; vol. 363, 587-593, 2/21, 2004	オランダにおいて、養鶏場の作業員、養鶏業者を対象に高病原性A型インフルエンザの感染状況を調査した結果、感染例が多数確認された。
36	インフルエンザ	THE LANCET 2004; vol. 363, January 24, 257	インフルエンザウイルスは非常に不安定であり継続的に少しずつ変化することにより、免疫系による感知を不可能とする。インフルエンザはSARSよりも伝染力が高い。
37	インフルエンザ	The LANCET, 2004; 363; 587-593	2003年3月1日オランダ農業省はトリインフルエンザA型(H7N7)集団感染に対する措置として、全家禽と家禽関連生産物の輸出禁止を発表した。
38	インフルエンザ	The NEW ENGLAND JOURNAL of MEDICINE 2003; 349 (19): 1812-20	トリインフルエンザと診断されたベトナムの10症例は、感染鶏から直接感染したと思われるが、遺伝子の混ぜ合わせと人から人感染が起きた可能性がある。
39	インフルエンザ	WHO HP 1/14, 2004	2003年10月以来、ベトナムのハノイでは14人が重症の肺炎症状を呈し12人が死亡、そのうち3人が遺伝子解析の結果、鳥インフルエンザH5N1感染により死亡したことが判明した。
40	インフルエンザ	WHO HP 2003/12/10	香港で発生した鳥インフルエンザのヒトへの感染症症例の報告
41	インフルエンザ	WHO HP 2004/1/14	ベトナムで重篤な気管支炎で死亡した3名から鳥インフルエンザが検出された報告

番号	感染症	出典	概要
42	インフルエンザ	WHO HP 4/5, 2004	WHOは、カナダでのトリインフルエンザ発生に対して、世界的感染流行対策を提唱した。WHOはトリインフルエンザウイルスを入手し、そのウイルスを特徴づけ、診断とワクチン開発の必要性を審査する一連の活動を開始する。
43	インフルエンザ	WHO HP CSR 1/13, 2004	ヒトから採取された検体からトリインフルエンザ株が確認された。検体は重症呼吸器疾患で入院した小児2例および成人1例から採取された。
44	インフルエンザ	WHO HP CSR 1/22, 2004	ベトナムで採取されたトリインフルエンザ株は香港で得られた株とは、抗原性も遺伝性も異なっていた。
45	インフルエンザ	WHO HP CSR 1/23, 2004	タイで高病原性トリインフルエンザのヒト感染例2例が確認された。
46	インフルエンザ	WHO HP CSR 1/29, 2004	タイ及びベトナムでの高病原性鳥インフルエンザ (H5N1) 患者の推定症例数。総症例数11 (タイ3、ベトナム8)、うち死亡例数8 (タイ2、ベトナム6)。
47	インフルエンザ	WHO HP CSR 2/12, 2004	高病原性トリインフルエンザの発生状況と人への感染状況を時系列的に報告したもの
48	インフルエンザ	WHO HP Disease Outbreak News 1/15, 2004	WHOは鳥インフルエンザに関するファクトシートを公表。ウイルス変異のリスクについての情報提供等が行われた。
49	インフルエンザ	WHO Weekly Epidemiological Record (WER), 2004; 79 (7), 65-76	高病原性鳥インフルエンザの流行がアジアの8ヶ国において報告されている。ヒトへの感染が今回の流行ではベトナムとタイの2ヶ国で報告されている。
50	インフルエンザ	WHO Weekly Epidemiological Record. 2004; 79 (7), 65-70	タイ及びベトナムでのトリインフルエンザ感染症例を中心に検証した。
51	インフルエンザ	WHO WPRO/Public Press Release 1/13, 2004	WHOはベトナム・ハノイ地域で発生した3例の高病原性鳥インフルエンザ (H5N1) の診断検査の確定を得た。ベトナムでは合計14例の重症呼吸器疾患患者が検知、うち小児患者11例と成人患者1例の合計12例が死亡したが、今のところ、これらの全てが高病原性鳥インフルエンザである証拠はない。
52	インフルエンザ	WHO/CSR/disease/2004 1/29	タイ及びベトナムでのトリインフルエンザ患者確定症例
53	インフルエンザ	WHO/CSR/don/2004_02_01	ベトナムで姉妹がトリインフルエンザにより死亡した。感染伝播のルートは判明できなかった。
54	インフルエンザ	<a href="http://www.cdc.gov/flu/avian">www.cdc.gov/flu/avian</a>	北米で起こったトリインフルエンザA型 (2004年カナダ: H7N3、2002年アメリカ: H7N2) は、アジアで起きたH5N1とは明確に区別され、重篤な症状に至らなかった。
55	インフルエンザ	大分県HP	2004年2月大分県において、高病原性鳥インフルエンザが発生したことの経過報告

番号	感染症	出典	概要
56	インフルエンザ	共同通信	京都府は3月7日、丹波町と園部町でカラスの屍骸からトリインフルエンザウイルスを検出したと発表した。
57	インフルエンザ	農林水産省HP 平成16年1月12日プレスリリース	山口県の採卵鶏農場において家畜伝染病に指定されている高病原性鳥インフルエンザの発生があった。国内では1925年以来、79年ぶりの発生である。
58	インフルエンザ	農林水産省のHP	山口県の養鶏場で鳥インフルエンザの感染が確認された報告
59	インフルエンザ	読売新聞2004/1/24	鳥インフルエンザの人から人への感染が懸念される
60	ウイルス感染	Announcements of the National Advisory Committee ' of the German Federal Ministry of Health and Social Security, 2003. 10. 1	ドイツ連邦保健・社会保障省の国立血液諮問委員会の声明によると、輸血用血液成分製剤及び分画用血漿の出荷基準のうち、ALT値による判定を中止するとのことである。
61	ウイルス感染	European Commission Public Health & Risk Assessment, C7/SANCO/SCMPMD/2003/0025 final D (03)	EUにおける、輸血及び移植に使用される血液の安全性に関連した節足動物媒介感染症（WNVを含む）の脅威についての医薬品・医療用具科学委員会の意見。脅威を除くためには、ドナー問診、不活化技術の導入、NAT等スクリーニング技術の導入等が考えられる。
62	ウイルス感染	Announcements of the National Advisory Committee ' of the German Federal Ministry of Health and Social Security, 2003. 10. 1	ドイツ連邦保健・社会保障省の国立血液諮問委員会の声明によると、輸血用血液成分製剤及び分画用血漿の出荷基準のうち、ALT値による判定を中止するとのことである。
63	ウイルス感染	EMA/CPMP/BWP/5180/03; 10/22, 2003	EMAのCPMPは、血漿由来医薬品から潜在的ウイルス感染のリスク評価を行う際に製造者が従うべき原則及び血漿由来医薬品の審査基準の概説を示したガイダンスを公表した。
64	ウイルス感染	European Commission/ Public/ Health/ 16 Oct. 2003	節足動物媒介感染症（WNVを含む）が輸血用血液と移植用臓器に及ぼす影響について、EU医薬品・医療用具科学委員会の意見について。EU外からの入国後4週間の献血延期、WNVやアルボウイルス感染の疫学データを収集する必要がある。
65	ウイルス感染	European Commission Public Health & Risk Assessment, C7/SANCO/SCMPMD/2003/0025 final D (03)	EUにおける、輸血及び移植に使用される血液の安全性に関連した節足動物媒介感染症（WNVを含む）の脅威についての医薬品・医療用具科学委員会の意見。脅威を除くためには、ドナー問診、不活化技術の導入、NAT等スクリーニング技術の導入等が考えられる。
66	ウイルス感染	ProMED 3/23, 2004 (Australian Broadcasting Corporation, Associated Press report, 3/22 2004)	呼吸器感染の原因となり、世界中に感染拡大している可能性が高い、未確認のコロナウイルスを同定した。これまで、原因が特定できなかった呼吸器疾患患者の多くの病因であった可能性がある。このウイルスは重症の感冒症状を惹起するが、重症肺炎はきたさない。致死性感染の可能性は高くない。
67	ウイルス感染	ProMED-mail 2/6, 2004 (The Nation, City News 2/6, 2004)	バングラデシュの原因不明の致死性疾患は、トリインフルエンザとは関係のないウイルス性脳炎であり、ニパウイルスやヘンドラウイルスに近いウイルスが原因と述べている。また、ニパウイルス属の新たな種である可能性がある。

番号	感染症	出典	概要
68	ウイルス感染 (ニパウイルス)	American Journal of Pathology 2003; 163 (5) : 2127-37	ニパウイルスをゴールデンハムスターの鼻腔内または腹腔内に投与すると、それぞれ9-29日、5-9日に死亡した。ゴールデンハムスターはニパウイルス感染症のモデル動物として提唱される。
69	ウイルス感染 (ニパウイルス)	ProMED 2/27, 2004 (WHO, CSR, Disease Outbreak News 2/26, 2004)	2004. 2. 26日時点でWHOはニパ様ウイルスによる死亡患者17名を含む患者22名の報告を受け取っている。その内11名が検査によって診断確定している。
70	ウイルス感染 (ニパウイルス)	Science. 2004; 303 (5661) :1121	ニパウイルス感染が再興しており、バングラデシュでは40名以上の患者が脳炎を伴う重症症状を呈し、14名が死亡した。疫学的には今回の流行と患者のほとんどが養豚業者であった以前のマレーシアの流行とは異なる。
71	ウイルス感染 (不明)	ProMED 12/5, 2003 (Jornal do Tocantins 11/28, 2003)	ブラジルTocantins州のAraguacema市とPium市などで、デング熱に類似したウイルス性感染症と考えられる疾患による患者288例が報告された。
72	ウイルス感染 (不明)	ProMED 2/21, 2004 (BBC and Radio News Australia 2/13, 2004)	オーストラリアの養豚場で原因不明の疾患が発生した。この疾患により不確定数のブタ胎児と子豚が死亡したが、New South Wales州代理副主任獣医官は、原因ウイルスは成長したブタやヒトには感染しないと述べた。
73	ウイルス感染 (不明)	ProMED 4/15, 2004 (Xinhuanet 4/13)	ザンビアで原因不明のウシの致死性疾患が発生した。
74	ウイルス感染 (不明)	ProMED-mail 8/27, 2003 (Newsday Trinidad and tobago, 8/23 2003)	2003年、トリニダードトバコでデング熱とともに原因不明のウイルス性疾患が発生した。
75	ウイルス性気道感染 (hMPV)	Pediatric Infectious Disease Journal 2003; 22: 923-4	オランダの研究者により分離されたhMPVは5歳未満の児童の呼吸器に感染し、呼吸器疾患を引き起こす新型ウイルスであり、院内感染の原因となることが確認されている。
76	ウイルス性脳炎	ProMED 1/26, 2004 (Matamat.com 1/24, 2004 The Daily Star 1/24, 2004)	バングラデシュのGoalundoで原因不明の致死性疾患
77	ウイルス性脳炎	ProMED 2/7, 2004 (The Nation, City News 2/6, 2004)	バングラデシュの原因不明の致死性疾患は、トリインフルエンザとは関係のないウイルス性脳炎であり、ニパウイルスやヘンドラウイルスに近いウイルスが原因と述べている。また、ニパウイルス属の新たな種である可能性がある。
78	ウイルス性肺炎 (不明)	ProMED 12/15, 2003 (EID Weekly Updates; Emerging and Reemerging Infectious Diseases, Region of Americas, Vol. 1, No. 23, 12/11, 2003)	2003年9月25日~11月28日、コロンビアで重症急性呼吸器疾患患者38名がコロンビア国立保健研究所に報告された。このうち、13名が死亡したが、患者のうち2名からインフルエンザA型ウイルス、2名からパラインフルエンザウイルス、1名からRSウイルスとパラインフルエンザ1型ウイルス、1名からRSウイルスとインフルエンザA型ウイルスが検出された。
79	ウエストナイルウイルス	AABB, 2004 Spring, the Executive perspective	WNVは年間を通じて感染の可能性があるため、多くの採血施設 (米国) は年間を通じてテストを行うことを決めた。
80	ウエストナイルウイルス	ABC Newsletter 2004. 1. 30	アイルランド輸血サービスは、WNV感染に対する予防策として米国、カナダ、メキシコからの帰国者について4週間の採血延期措置を決定した。
81	ウエストナイルウイルス感染	CDC MMWR, 53 (13) ; 281-284, 2004. 4. 9	輸血後WNV感染が認められたことについて、WNV感染者の80%は無症候であり、低濃度の場合にはNATスクリーニングをすり抜ける可能性がある。

番号	感染症	出典	概要
82	ウエスト ナイルウ イルス感 染	Canadian Blood Services Customer Letter #2003-21 9/3, 2003	カナダ・サスカチュワン州ではWNV感染症が高率に見られたため、カナダ血液サービス (CBS) は2003年9月2日よりサスカチュワン州のすべての血液ドナーについて、WNV-RNAスクリーニングをミニプールNATから個別NATに変更した。
83	ウエスト ナイルウ イルス感 染	Canadian Blood Services Customer Letter #2003-24 9/24, 2003	カナダ・CBCでは、2003年9月2日よりサスカチュワン州のすべての血液ドナーについて、WNV-RNAスクリーニングをミニプールNATから個別NATに変更したが、開始後3週間、WNVは検出されなかった。CBSはWNV感染症のピークは過ぎたと判断し、9月23日にミニプールNATに戻した。
84	ウエスト ナイルウ イルス感 染	CDC HP West Nile Virus September 29, 2003	2003年9月29日現在の米国内での2003年WNV感染者数の情報。症例数5124例、うち死亡98例。
85	ウエスト ナイルウ イルス感 染	CDC MMWR, 10/24, 2003/52 (42); 1017-9	米国ウイコンシン州保健当局は、七面鳥飼育農場で働く従業員2名のWNV発症者を調査した結果、この農場の従業員と七面鳥がWNVの抗体陽性率が高いことが判明し、蚊以外からのWNV感染の可能性が示唆された。
86	ウエスト ナイルウ イルス感 染	CDC MMWR, 4/9, 2004/53 (13): 281-284	WNVに対する血液検査により輸血用血液の安全性が改善された。しかし、WNV輸血感染のリスクはわずかに残っており、このリスクに対処するために、血液検査のスクリーニング検査方法の変更が2004年に計画されている。
87	ウエスト ナイルウ イルス感 染	CDC MMWR, 8/15, 2003/52 (32); 769-72	2003年から、米国で輸血・臓器提供によるウエストナイルウイルス感染防止のため、供血血液に抗体検査に加えてNATスクリーニング検査が導入された。その結果、同年8月5日までに約100万人がスクリーニングされ、329人 (約0.03%) がWNV-RNA陽性を示し、再度のNATでも163人 (約0.015%) がWNV-RNA陽性だった。
88	ウエスト ナイルウ イルス感 染	CDC MMWR, 9/18, 2003/52 (Dispatch): 1-3	2003年から米国内の採血機関ではウエストナイルウイルスを検出するため、プールNAT検査を導入したが、2003年6月から9月にかけてのNAT検査の結果は、1次検査陽性は全体の0.05%、そのうちの約半数、全体の0.02%がWNV血症可能性血液と考えられた。また、2003年9月時点で2例のNATすり抜け輸血感染症例が報告された。
89	ウエスト ナイルウ イルス感 染	Emerging Infectious Diseases 2001; 7 (4): 714-21	WNVをハムスターの腹腔内に投与すると、5-6日間でウイルス血症を示し、続いて抗体が発現、脳炎を起こし、7-14日間に約半数が死亡した。
90	ウエスト ナイルウ イルス感 染	ProMED 10/23, 2003 (Eurosurveillance Weekly 10/23, 2003)	5週間以内に、同じ地区ウエストナイルウイルス感染でヒト患者2例とウマ症例3例が発生したことから、感染暴露がVar地区で起こったと強く示唆された。
91	ウエスト ナイルウ イルス感 染	ProMED 8/22, 2003 (Eurosurveillance Weekly, vol. 7, 8/21, 2003)	2002年8月28日～2003年3月1日のCDC追跡調査の結果、輸血感染が疑われる患者は61名、そのうち確定症例は21名であった。欧州における供血者へのWNV対策は、①米国カナダからの帰国者は、帰国後28日間は供血を延期すること、②米国カナダの渡航歴がありWNVの疑いの病歴を有する者あるいは滞在中・帰国時に頭痛を伴う発熱があった場合は、症状発生から28日間は供血を延期することとしている。
92	ウエスト ナイルウ イルス感 染	ProMED 9/11, 2003 (The Leader-Post Regina 9/9, 2003)	ウエストナイルウイルスの多発地域で献血された血液製剤をカナダ中の病院から回収した。
93	ウエスト ナイルウ イルス感 染	The NEW ENGLAND JOURNAL of MEDICINE 2003; 349 (13): 1236-45	2002年8月、米国FDA及びCDCが地方保健当局及び血液関連機関に対して、輸血によるウエストナイル感染に注意するよう通知後、輸血感染が疑われる症例報告がなされるようになったため、2003年4月15日までのCDC追跡調査の結果、輸血感染が疑われる患者は61名、そのうち確定症例は23名であった。
94	ウエスト ナイルウ イルス感 染	Transfusion 2003; 43 (8): 1007-17	2002年、米国のWNVの発現率の高い6州及び大都市圏において、輸血を介したWNV感染の平均リスクは供血者1万人あたり1.46-12.33と推定された。